

宮崎県立図書館ビジョン (一部改定版)



令和5年2月策定
宮崎県立図書館

I ビジョン一部改定の目的

県立図書館では県内外の有識者からなる「宮崎県立図書館ビジョン懇談会」の提言(平成28年11月)を踏まえ、長期的な視点で県立図書館の今後目指すべき姿や果たすべき役割、今後の施策の展開の方向性を明確にするため、平成29年12月「宮崎県立図書館ビジョン」(以降「ビジョン」)を策定し、その期間を10年間(平成30年度～令和9年度)と定め、必要に応じ見直すこととしました。

策定から5年を経過した現在、感染症の世界的流行やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進など社会情勢が大きく変化しそのスピードも増す中、具体的事項を含む現ビジョンの内容は現状に合わなくなっている部分も出てきました。

そこで現ビジョンの大きな方向性は変えず、具体的事項は時代の変化に対応可能な表現にするとともに、内容をよりシンプルにすることで、県民の皆様と県立図書館のあり方や方向性について共有しやすくするよう改めました。

※デジタルトランスフォーメーション…将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

II ビジョンの期間

本計画は、平成30年度から令和9年度までの10年間の計画とします。
(一部改定後の計画の適用期間は、令和5年度から令和9年度の5年間)
なお、必要に応じ見直しを行います。

Ⅲ 基本目標

これまで、『「知の共有・創造」を支える図書館ネットワーク』を基本目標として定めていましたが、県民の一生の学びを支え、宮崎の歴史・文化を伝える県立図書館として、新たにより分かりやすい目標を定め県民と共有します。

「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」

Ⅳ 行動指針

これまで基本目標の下にあった「基本的役割」を基本目標を達成するための「行動指針」に置き換えました。

- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
- 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
- 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

※資料…図書館が所蔵する図書、新聞、雑誌、パンフレット等の紙資料

※情報…図書館が所蔵しないWeb上の統計や記事、データベースの情報

※知識…どのような資料や情報、専門機関がどこにあるか等を把握している図書館職員の専門知識

V 今後の施策展開の方向性

IVの行動指針を踏まえて、今後の施策展開の方向性は次のとおりとします。ビジョン改定と合わせ、今後3年間のアクションプラン(期間 令和5年度～令和7年度の3年間)を策定します。□囲みの取組については、ビジョンの改定に合わせ、アクションプランとして策定予定のものです。

1 図書館の図書館（全県ネットワーク）

県内公共図書館等とのネットワーク(図書館員・情報システム・物流)の核として全県的図書館サービスの充実を図り、県民が生涯にわたり読書に親しみ、自主的に学び続けることを支援していきます。

知のセーフティーネットとして、全県的視野で互いに持つ資料とネットワークを生かした事業を展開していきます。

(1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力

- 県内どこに住んでいても必要な本を手にとることができるよう要望のあった市町村立図書館(室)に、又は市町村立図書館(室)を通じて個人に貸し出すとともに、この取組について、市町村と連携して広く県民に周知し利用促進に努めます。
- 市町村立図書館(室)のサービス向上のため、図書館の運営や読書振興に資する助言等に努めます。
- 図書館利用者のニーズに対応できるよう市町村立図書館(室)等の職員・関係者を対象として、専門知識や図書館サービスの向上につながる研修を実施します。
- 県立図書館を中心に、市町村立図書館(室)と情報の共有を図り、図書館間のネットワークを拡充し、連携・協力して全県的な図書館サービス体制の充実を図ります。

(2) 学校図書館の支援

- 県内の児童・生徒が読書を通じて知識を身につけたり生き方について考えを深めたりすることや、本が身近にある楽しさに気付けるよう、図書館未設置地域の学校等に対し、学校図書館の運営・充実に役立つ支援を行います。
- 高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の促進や図書配送システム利用校の拡充など、図書館を活用した新たな学習活動の展開を支援します。

(3) 大学図書館への利用促進

- 大学図書館と連携し、図書配送システムの利用を促進します。

(4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理

- 経年的に蓄積し続ける蔵書資料の保存状態を維持するとともに、安定的に資料収集ができるよう、収蔵スペースの確保に努めます。
- 誰もが安心して安全に利用できるよう、施設設備の老朽化や危機管理への対策を講じ、既存施設の維持・改善に努めます。
- 高度化する要望に的確に対応する図書館ネットワークを支え、より大量かつ高速な処理を可能にする図書館情報システムの拡充を検討・実施します。
- 資料防災について日頃から学び備えるとともに、ネットワークを生かし、関係機関と情報の共有化を図ります。
- 図書館の本を要望に応じて市町村立図書館(室)、高等学校、大学等県全域に迅速・効率的に届ける「図書配送システム」の維持管理に努めます。

(5) 図書館の図書館としての情報発信

- 一般に見えづらい県立図書館の活動や蔵書の魅力を積極的に情報発信します。

(2) 学校図書館の支援

- 県内の児童・生徒が読書を通じて知識を身につけたり生き方について考えを深めたりすることや、本が身近にある楽しさに気付けるよう、図書館未設置地域の学校等に対し、学校図書館の運営・充実に役立つ支援を行います。
- 高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の促進や図書配送システム利用校の拡充など、図書館を活

(3) 大学図書館への利用促進

- 大学図書館と連携し、図書配送システムの利用を促進します。

(4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理

- 経年的に蓄積し続ける蔵書資料の保存状態を維持するとともに、安定的に資料収集ができるよう、収蔵スペースの確保に努めます。
- 誰もが安心して安全に利用できるよう、施設設備の老朽化や危機管理への対策を講じ、既存施設の維持・改善に努めます。
- 高度化する要望に的確に対応する図書館ネットワークを支え、より大量かつ高速な処理を可能にする図書館情報システムの拡充を検討・実施します。
- 資料防災について日頃から学び備えるとともに、ネットワークを生かし、関係機関と情報の共有化を図ります。
- 図書館の本を要望に応じて市町村立図書館(室)、高等学校、大学等県全域に迅速・効率的に届ける「図書配送システム」の維持管理に努めます。

(5) 図書館の図書館としての情報発信

- 一般に見えづらい県立図書館の活動や蔵書の魅力を積極的に情報発信します。

2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

歴史資料だけではなく、行政資料やパンフレット等を「地域資料」として、収集・整理・保存するとともに、貴重書等のデジタル化を進め、広く県民に活用を図り、個性と魅力ある地域づくりを支援します。

(1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進

- 県内の基幹的図書館として市町村との役割分担を踏まえながら、歴史資料はもとより、行政資料や民間資料等を含む幅広い分野の地域資料の収集・保存に努め、県全体で資料の充実・共有を図ります。
- 収集した地域資料を長期的視点で活用できるよう整理、保存します。
- 地域資料・情報を活用し展示や講座等による情報発信を行うことで、県民のシビックプライドを醸成します。
※シビックプライド…郷土や自分の住む地域の課題等への当事者意識を伴った愛着と誇り
- 自館の特色あるコレクション(例:杉田文庫、小林邦雄コレクション)について、調査・研究し、多面的・多層的な展示を行うことにより、県民に、宮崎の土地、歴史、文化や人の魅力を知る機会を創出します。

(2) 地域情報のデジタル化・データベース化

- 蓄積されていく豊富な地域情報については、データベース化による一元管理や貴重書等のデジタル化（デジタルアーカイブ）を進めることで、利活用しやすい提供環境を整備します。
- ボーンデジタル資料の収集、整理、保存方法について研究します。
※ボーンデジタル…作成当初からデジタル形式で記録され、冊子体では刊行されない情報。

3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

地域や個人の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンス(調査相談)サービスと情報資源(専門的分野の資料、データベース等)の充実を図ります。

県民に自主的・自発的な学習機会を提供するため、「知の共有・創造」の場づくりや、県の政策・企画立案の支援等を行います。

県民ニーズの高度化・多様化に対応できるよう、計画的な専門人材の育成・確保に取り組むとともに、県立図書館の事業について、評価等に基づいて継続的に改善していきます。

(1) レファレンスサービスの充実

- 利用者の要望に多角的に対応し、豊富な情報や資料の提供を的確に行い、調査・研究を支援します。
- 県立図書館が保有する豊富な情報や知識を活用して市町村立図書館のレファレンスサービスを支援し、県民の満足度を高められるよう努めます。

(2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供

- 市町村立図書館(室)との役割分担を踏まえ、より専門的な資料の収集・整理・保存・提供に努めます。
- 電子書籍について、調査研究を行います。

(3) 生涯読書活動の推進

- 図書館の利用が少ない世代などの読書振興を図るため、読書の大切さの普及・啓発を図ります。
- 読書に障がいのある方や、来館が困難な方、高齢者、外国人等に対する読書環境の充実を図ります。

(4) 他の専門機関との連携

■ 大学や博物館など専門機関と協働し、展示や資料・情報を活用した主体的な学びの場づくりなど、モデル的取組の普及に努めます。

(5) 情報アクセス環境の整備

■ 書誌情報やデータベースの充実など、利用者が効率的・多面的に情報にアクセスできる環境整備に努めます。

(6) 政策立案の支援

■ 県政の重点事項に関する情報など、政策情報の収集に努め、自治体職員等に対し、政策立案や業務遂行を支援する資料や情報の提供、レファレンスサービスを行います。

(7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス

■ 本県の県政課題や社会問題などに応じた資料・情報の収集、整理に努め、地域と個人の課題解決を支援します。

■ 市町村立図書館(室)に対して、産業振興や高齢者対策など、それぞれの地域の抱える課題に応じた図書館サービスを推進します。

(8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保

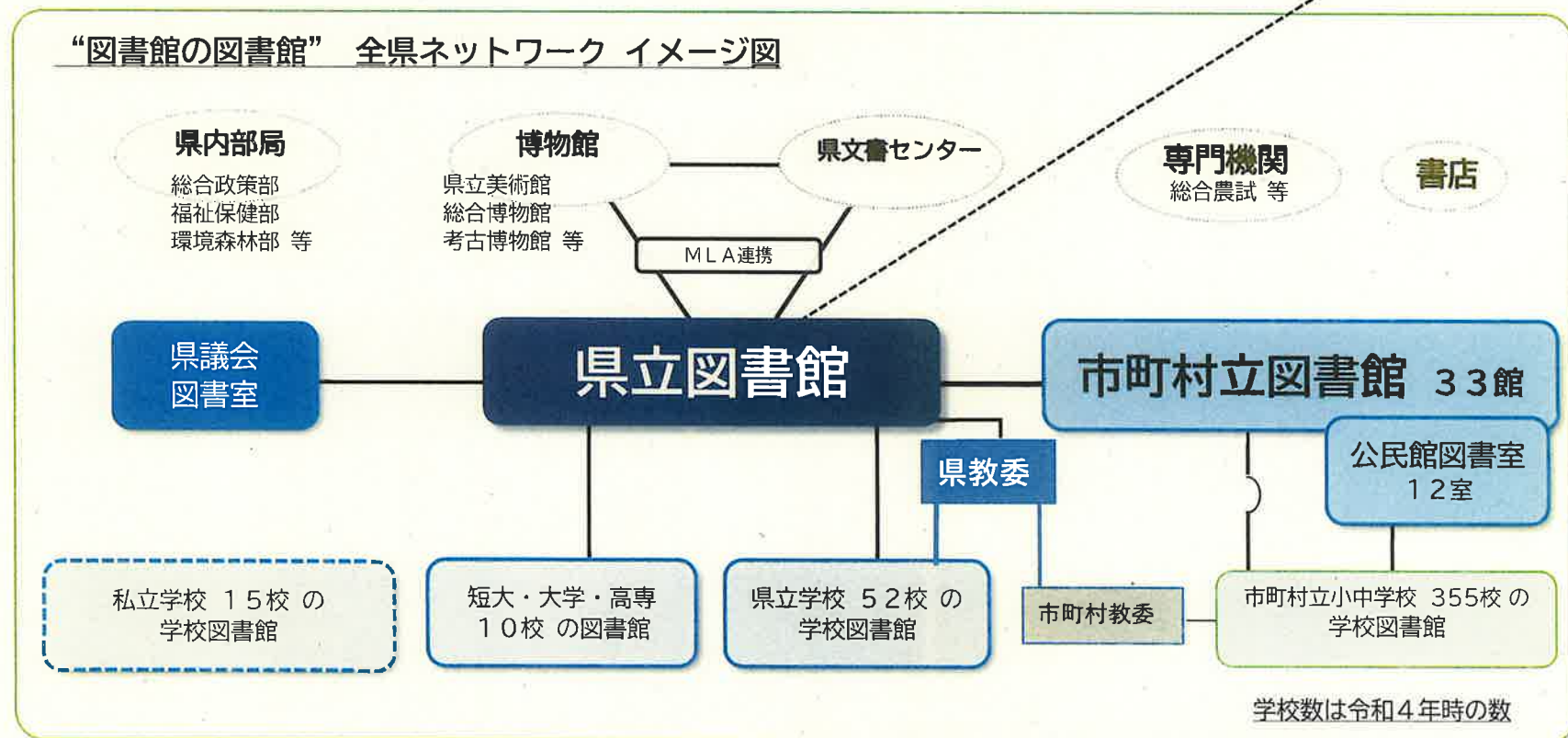
■ 専門的な研修への職員派遣や実務経験の積上げ等により、高度なニーズに対応できる力を備えた人材の中長期的な育成・確保に努めます。

(9) 新たな動向の把握及び事業の改善

■ 図書館のあり方について、その根幹的役割を踏まえつつ、社会情勢の変化に対応した事業の改善と充実に努めます。

基本目標 人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

- 行動指針
- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
 - 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
 - 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える



<参考 1> 県立図書館及び県内市町村立図書館（室）各種統計にみる近年の動き

	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	マイライン貸出冊数	6,351	7,143	7,155	6,112	5,084
2	市町村間の相互貸借における貸出冊数	4,723	5,278	4,830	4,640	4,656
3	アドバイザー派遣館(室)数	9	11	10	12	18
4	県内市町村立図書館設置率 (4月1日時)	73.1	73.1	73.1	73.1	77.0
5	県立図書館への入館者数	476,569	475,346	427,575	307,705	289,561
6	県立図書館及び市町村立図書館(室)の貸 出冊数	3,918,881	4,118,010	3,780,400	3,193,234	3,607,908
7	県立図書館の貸出冊数	422,886	415,589	387,555	370,930	415,007
8	市町村立図書館(室)の貸出冊数	3,495,995	3,702,421	3,392,845	2,822,304	3,192,901
9	県立図書館障がい者サービスの貸出点数	549	757	935	1,043	1,067
10	県立図書館SNSフォロワー数	354	432	488	530	601
11	県立図書館デジタルアーカイブへのアップ 点(冊)数	959	993	1,034	1,060	1,110

令和元年度3月より、新型コロナウイルス感染拡大のため県立図書館を含む県内公共図書館の休館やサービス、座席数や滞在時間等の利用制限を行わざるを得ず、その影響から入館者数や各種貸出数に減少傾向が見られる。(項目1, 2, 5～8)

当館職員が県内市町村立図書館(室)を訪問し、要望にあった助言、研修を行うアドバイザー派遣は倍増している。(項目3)

要請に応じ開館準備の助言や支援を行いつつ、令和2年7月に椎葉村図書館「ぶん文Bun」、令和3年5月には日之影町立図書館が開館している。県内26市町村中未設置町村は高原町、西米良村、木城町、諸塚村、五ヶ瀬町の5町村となった。(項目4)

個人宅への無料配送サービスを含む障がい者サービスの貸出点数はコロナ禍の中、着実に伸びている。(項目9)

県立図書館ならではの情報発信を行うことにより、SNSのフォロワー数は増加している。令和4年度10月より、Facebookに加え、Instagramを試行的に開始している。(項目10)

電子化した資料をデジタルアーカイブに計画的に登録しつつ(項目11)、SNS等を通じ登録内容の周知を図っている。

<参考2> 都道府県立図書館統計より 宮崎県立図書館の位置

①～④、⑥～⑧『図書館雑誌』2022年8月号(日本図書館協会刊)掲載。

⑤『データは2022年4月1日現在で行われた公共図書館調査より転記した速報値である。

⑥『日本の図書館』本誌発行までに図書館からの修正・訂正があった場合、データを変更することがある。

⑦『来館者数』、『貸出資料数』、『参考業務受付件数』は、2021年度の実績。

⑧『人口』は『全国市町村要覧(令和3年版)』(2021年1月1日現在住民基本台帳による)の数値を用いた。

⑨『図書館雑誌』2020年8月号(日本図書館協会刊)掲載。

⑩『日本の図書館 2021』(日本図書館協会)

①人口

順位	県名	人口
1	東京都	13,843,526
2	神奈川県	9,820,245
3	大阪府	8,839,532
4	愛知県	7,558,872
5	埼玉県	7,193,849
6	千葉県	6,322,897
7	兵庫県	5,524,627
8	北海道	5,224,735
9	福井県	5,124,219
10	静岡県	3,686,335
11	茨城県	2,907,678
12	広島県	2,819,477
13	東京都	2,530,609
14	宮城県	2,282,106
15	新潟県	2,213,153
16	長野県	2,022,219
17	岐阜県	2,016,868
18	群馬県	1,958,185
19	栃木県	1,955,409
20	岡山県	1,893,874
21	福島県	1,862,777
22	三重県	1,800,756
23	熊本県	1,758,819
24	鹿児島県	1,617,820
25	沖縄県	1,485,484
26	富山県	1,318,866
27	愛媛県	1,356,343
28	山口県	1,356,144
29	奈良県	1,344,952
30	長崎県	1,336,023
31	青森県	1,260,067
32	岩手県	1,231,805
33	大分県	1,141,784
34	石川県	1,132,656
35	宮崎県	1,087,872
36	山梨県	1,070,017
37	富山県	1,047,713
38	香川県	973,927
39	秋田県	971,604
40	和歌山県	944,750
41	山梨県	831,094
42	佐賀県	818,251
43	福井県	774,626
44	徳島県	735,020
45	鳥取県	701,531
46	高知県	672,979
47	鳥取県	556,859
合計		126,654,244

②資料費予算額

順位	県名	2022年度予算額(千円)
1	東京都	317,567
2	高知県	107,025
3	鳥取県	101,856
4	大阪府	100,255
5	静岡県	80,815
6	岡山県	79,316
7	神奈川県	71,548
8	福岡県	71,382
9	岐阜県	70,573
10	岐阜県	70,540
11	千葉県	65,063
12	石川県	64,725
13	富山県	62,562
14	茨城県	62,112
15	埼玉県	61,846
16	滋賀県	61,487
17	青森県	61,364
18	佐賀県	59,441
19	愛媛県	52,758
20	広島県	51,884
21	大分県	51,177
22	鹿児島県	49,778
23	山口県	48,619
24	山梨県	48,274
25	和歌山県	48,064
26	佐賀県	47,416
27	岩手県	45,012
28	福井県	44,682
29	徳島県	43,500
30	宮崎県	42,845
31	秋田県	39,969
32	宮城県	38,879
33	愛知県	35,094
34	茨城県	33,501
35	香川県	33,462
36	鳥取県	33,089
37	愛媛県	32,483
38	福島県	31,739
39	新潟県	31,713
40	熊本県	30,300
41	北海道	29,652
42	沖縄県	202,694
43	沖縄県	28,560
44	三重県	25,037
45	山梨県	22,933
46	長崎県	20,404
47	岩手県	20,227
48	栃木県	17,508
合計		3,647,569

③来館者数

順位	県名	来館者数
1	岡山県	706,013
2	大阪府	551,684
3	福井県	514,421
4	愛知県	418,219
5	香川県	409,783
6	鹿児島県	395,756
7	大分県	377,325
8	山梨県	365,735
9	徳島県	349,486
10	和歌山県	332,599
11	秋田県	319,812
12	宮城県	317,503
13	大分県	316,289
14	新潟県	296,418
15	奈良県	292,604
16	宮崎県	289,561
17	秋田県	284,372
18	長野県	260,095
19	岩手県	258,358
20	佐賀県	243,508
21	岐阜県	237,756
22	茨城県	232,184
23	埼玉県	230,654
24	千葉県	229,434
25	山梨県	212,545
26	富山県	210,102
27	鳥取県	202,694
28	和歌山県	182,235
29	三重県	179,740
30	鳥取県	175,884
31	福岡県	163,965
32	愛媛県	155,273
33	静岡県	154,894
34	東京都	151,725
35	青森県	149,176
36	福島県	134,601
37	群馬県	128,039
38	兵庫県	121,703
39	山口県	113,859
40	熊本県	109,183
41	富山県	102,762
42	広島県	98,582
43	石川県	82,650
44	栃木県	81,112
45	佐賀県	66,609
46	北海道	63,670
47	熊本県	37,813
48	高知県	4,254
合計		11,228,573

④図書館への貸出数

順位	県名	図書館への貸出数
1	鳥取県	106,446
2	千葉県	93,419
3	東京都	67,103
4	大阪府	64,323
5	京都府	52,046
6	岡山県	36,142
7	埼玉県	33,499
8	鹿児島県	33,660
9	富山県	32,979
10	高知県	32,954
11	北海道	29,965
12	大分県	24,679
13	徳島県	23,674
14	秋田県	22,177
15	三重県	20,749
16	長崎県	19,869
17	富山県	17,124
18	宮城県	15,445
19	佐賀県	15,350
20	神奈川県	15,212
21	愛知県	15,096
22	福岡県	14,802
23	石川県	13,882
24	群馬県	13,058
25	富山県	14,195
26	大分県	13,624
27	熊本県	12,154
28	福井県	11,932
29	和歌山県	11,058
30	北海道	10,705
31	徳島県	9,124
32	岩手県	8,758
33	山梨県	8,656
34	鳥取県	8,119
35	奈良県	8,073
36	茨城県	7,602
37	佐賀県	7,202
38	三重県	7,042
39	青森県	6,631
40	長野県	6,834
41	静岡県	7,502
42	宮城県	7,324
43	新潟県	7,295
44	香川県	7,217
45	青森県	6,471
46	山梨県	5,526
47	福島県	5,071
48	佐賀県	4,869
49	鳥取県	4,843
50	長野県	3,780
51	新潟県	3,179
52	岩手県	2,178
53	三重県	1,766
54	愛媛県	1,600
合計		857,053

⑤ 977,348

⑤個人貸出数

順位	県名	個人貸出数
1	岡山県	1,102,003
2	長崎県	862,182
3	香川県	857,678
4	滋賀県	716,746
5	福井県	706,686
6	宮城県	633,873
7	大分県	572,554
8	徳島県	546,150
9	大分県	502,730
10	新潟県	457,894
11	和歌山県	441,449
12	鹿児島県	431,023
13	鳥取県	410,602
14	愛知県	391,520
15	福岡県	379,752
16	秋田県	378,348
17	宮崎県	346,176
18	山梨県	334,291
19	山梨県	333,346
20	沖縄県	297,468
21	佐賀県	284,738
22	群馬県	263,547
23	岐阜県	262,160
24	鳥取県	250,625
25	埼玉県	242,585
26	高知県	223,923
27	佐賀県	210,142
28	三重県	209,201
29	京都府	194,567
30	山口県	193,341
31	岩手県	191,152
32	福島県	173,191
33	青森県	156,080
34	北海道	147,276
35	愛媛県	146,003
36	熊本県	138,968
37	富山県	132,358
38	千葉県	128,989
39	静岡県	125,901
40	広島県	122,116
41	神奈川県	114,481
42	長野県	109,012
43	石川県	68,483
44	栃木県	54,112
45	佐賀県	43,150
46	東京都	4,254
47	高知県	4,254
合計		14,889,534

⑥ 977,348

⑥参考業務受付数(レファレンス)

順位	県名	参考業務受付件数
1	岡山県	77,074
2	大阪府	75,829
3	東京都	56,374
4	福岡県	51,137
5	沖縄県	37,001
6	埼玉県	36,157
7	山梨県	34,054
8	愛知県	27,672
9	山梨県	23,519
10	鹿児島県	23,177
11	京都府	22,161
12	宮城県	21,743
13	長崎県	21,054
14	秋田県	20,899
15	香川県	17,646
16	新潟県	17,456
17	岩手県	17,416
18	千葉県	16,917
19	愛媛県	16,873
20	群馬県	16,759
21	福井県	16,321
22	奈良県	15,846
23	山梨県	14,619
24	富山県	14,195
25	大分県	13,624
26	熊本県	12,154
27	福井県	11,932
28	和歌山県	11,058
29	北海道	10,705
30	徳島県	9,124
31	山口県	8,758
32	熊本県	8,656
33	山梨県	8,119
34	鳥取県	8,073
35	奈良県	7,602
36	茨城県	7,202
37	佐賀県	7,042
38	三重県	6,631
39	青森県	6,331
40	長野県	6,834
41	静岡県	7,502
42	宮城県	7,324
43	新潟県	7,295
44	香川県	7,217
45	青森県	6,471
46	山梨県	5,526
47	福島県	5,071
48	佐賀県	4,869
49	鳥取県	4,843
50	長野県	3,780
51	新潟県	3,179
52	岩手県	2,178
53	三重県	1,766
54	愛媛県	1,600
合計		857,053

⑥ 977,348

⑦ 977,348

⑧ 977,348

⑨ 977,348

⑩ 977,348

⑪ 977,348

⑫ 977,348

⑬ 977,348

⑭ 977,348

⑮ 977,348

⑯ 977,348

⑰ 977,348

⑱ 977,348

⑲ 977,348

⑳ 977,348

㉑ 977,348

㉒ 977,348

㉓ 977,348

㉔ 977,348

㉕ 977,348

㉖ 977,348

㉗ 977,348

㉘ 977,348

㉙ 977,348

㉚ 977,348

㉛ 977,348

㉜ 977,348

㉝ 977,348

㉞ 977,348

㉟ 977,348

㊱ 977,348

㊲ 977,348

㊳ 977,348

㊴ 977,348

㊵ 977,348

㊶ 977,348

㊷ 977,348

㊸ 977,348

㊹ 977,348

㊺ 977,348

㊻ 977,348

㊼ 977,348

㊽ 977,348

㊾ 977,348

㊿ 977,348

㊿ 977,348

㊿ 977,348

㊿ 977,348

㊿ 977,348

㊿ 977

V 今後の施策展開の方向性

IVの行動指針を踏まえて、今後の施策展開の方向性は次のとおりとします。ビジョン改定と合わせ、今後3年間のアクションプラン(期間 令和5年度～令和7年度の3年間)を策定します。□囲みの取組については、ビジョンの改定に合わせ、アクションプランとして策定予定のものです。

1 図書館の図書館（全県ネットワーク）

県内公共図書館等とのネットワーク(図書館員・情報システム・物流)の核として全県的図書館サービスの充実を図り、県民が生涯にわたり読書に親しみ、自主的に学び続けることを支援していきます。

知のセーフティーネットとして、全県的視野で互いに持つ資料とネットワークを生かした事業を展開していきます。

(1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力

■ 県内どこに住んでいても必要な本を手にとることができるよう要望のあった市町村立図書館(室)に、又は市町村立図書館(室)を通じて個人に貸し出すとともに、この取組について、市町村と連携して広く県民に周知し利用促進に努めます。

■ 市町村立図書館(室)のサービス向上のため、図書館の運営や読書振興に資する助言等に努めます。

■ 図書館利用者のニーズに対応できるよう市町村立図書館(室)等の職員・関係者を対象として、専門知識や図書館サービスの向上につながる研修を実施します。

■ 県立図書館を中心に、市町村立図書館(室)と情報の共有を図り、図書館間のネットワークを拡充し、連携・協力して全県的な図書館サービス体制の充実を図ります。